

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

交付金対象事業の名称	文化財を資源とした交流エリア形成プロジェクト	
事業の概要	八幡山公園グラウンドの再整備計画に伴い、老朽化した文化財施設を八幡山公園の一角に移転させ、隣接する南下古墳公園と一体的な施設活用を推進する。これにより、町内の豊富な文化財を有効活用する交流エリアを形成し、「よしおか再発見プロジェクト」と連動させながら地域資源を磨き上げ、本町の特色である古墳や養蚕などの歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を通じて、域外からの新たな人の流れを呼び込み、交流人口の拡大を目指すものである。併せて、本町は移住者が多いことから、改めて住民に地域資源を認識してもらうことにより郷土愛の醸成を図り、定住を促進する。	
事業経費	【平成30年度】 まがたま作り教室 4,200円 講演会 15,000円 三津屋古墳パンフレット600部64,800円 吉岡町文化財マップ400部96,552円 南下古墳群パンフレット200部33,048円	【平成29年度】 事業費総額：57,304,800円 （事業費内訳） ・工事請負費 51,516,000円 ・設計委託料 5,788,800円 ※企業版ふるさと納税により 30,000,000円の歳入
平成30年度 取組内容		取組結果
平成30年8月1日（水）まがたま作り教室 ①10：00～11：30 ②13：30～15：00 （吉岡町文化財センター 体験学習室）		町内の小学生（1年生から5年生）13人参加。まがたま作りを通して古墳時代の装飾品について学んだ。参加者同士の学年を超えた交流を深めることができた。
平成30年11月20日（火）講演会 13：30～ （吉岡町文化財センター 体験学習室） 演題 三津屋古墳について～八角形の謎を解く～ 講師 元群馬県埋蔵文化財調査事業団研究部長 能登健 先生		43名参加。全国でも珍しい正八角形墳である三津屋古墳について学んだ。終了後には文化財センターの見学も行い、参加者同士の交流も深めた。
平成31年2月1日（金）～3月31日（日）吉岡町の道祖神展示 （吉岡町文化財センター 体験学習室）		縁結び、子育て、五穀豊穰、夫婦和合などの神として人々に親しまれてきた、町内の58体の道祖神を写真パネルなどで紹介した。町内の文化財への理解が深まり、郷土愛の醸成につながった。
文化財に関するパンフレット作成（増し刷り）		文化財に関するパンフレットなど3種類を増し刷りした。

○企業版ふるさと納税事業に係る検証シート

重要業績評価指標	基準値	平成29年度末 目標値 (増加分)	平成29年度末 実績値 (増加分)	平成30年度末 目標値 (増加分)	平成30年度末 実績値 (増加分)	平成31年度末 目標値 (増加分)
文化財施設利用者 数 (人)		—	—	1,000	1,080	1,500
観光入込客数 (人)		—	480,400	620,000	485,400	625,000
					10	
KPI未達成 の理由	未実施事項としては、古代米作付けが出来なかった。					
	観光入込客数実績値は、船尾自然公園バーベキュー場・リバーピア吉岡・吉岡町緑地運動公園・伊香保おもちゃと人形自動車博物館・庵古堂の5か所から得た数値であるのに対して、平成30年度末の目標値の参考になった平成27年度の観光入込客数実績値は先に挙げた地点に群馬まいたけセンターを加えた6か所から得た数値を積み上げたものである。この観測地点の減少に加え、従来の「見る」観光から「五感で体験する」観光といった体験型観光へのニーズの変化に対しての取組み（観光素材としての魅力）をうまく周知できていないためと考えられる。					
事業の課題 /今後の取組	県や町指定文化財の整備等を通じて地域資源としての魅力を高めるとともに、町の特徴である古墳文化や養蚕文化を中心とした歴史・文化の発信施設として設置した文化財センターの活用範囲の拡大に努めること。更に、文化財資源を郷土愛の醸成や新住民の定住に結びつけること。					
	貴重な文化財資源を観光資源として扱い、新たな観光資源の発掘に取り組み魅力的な街づくりに貢献していく。また、団体客対応が出来る観光施設に対し、協力を求め相乗効果を発揮できる施策を検討する。					
事業の評価	事業期間が短く、効果を把握できないため、経過観測されたい。					
外部有識者による 意見・記述欄	<p>約6,000万円の費用をかけて設立した施設に対する利用者の目標値が適切でないようにも思われるため、検討をして必要があれば修正されたい。また観光入込客数については、指標として適切かどうかとも検討されたい。</p> <p>本事業は、住民に地域資源を認識してもらうことにより郷土愛の醸成を図り、定住を促進することを目標としているが、こういった事業に対してはKPIの設定や数のみに依存した効果測定も難しいことから、事業の結果が出るのにも時間がかかってしまうため、検証を続けていくことが必要である。</p> <p>これからも地元の小中学校に社会科の授業などで使ってもらうようにさらに取り計らわれたい。</p> <p>文化財施設だけでなく、それを吉岡町の歴史等とトータルコーディネートで町の魅力を発展させるようなことを考えていただきたい。</p> <p>こういった事業を行う際には地元にある文化遺産を地元の人々で大切にしていこうという考え方が重要である。</p> <p>域外からの新たな人の流れを呼び込み、交流人口の拡大を目指すのであれば、お金を落としていってもらえる方法も検討されたい。</p>					